



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月27日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社 上場取引所 東証第一部
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊部 幸顕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報部長 (氏名) 森山 茂 TEL (03)3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	12,178	2.3	384	80.6	452	77.3	297	101.7
19年3月期第1四半期	11,900	△12.5	213	△30.3	255	△18.1	147	△62.4
19年3月期	52,757	—	3,438	—	3,341	—	2,068	—

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	7.08	—
19年3月期第1四半期	3.48	—
19年3月期	48.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	57,965	29,430	50.8	700.96
19年3月期第1四半期	55,626	28,475	51.2	672.99
19年3月期	58,519	29,597	50.6	703.57

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	566	134	△510	2,215
19年3月期第1四半期	800	△1,729	763	1,849
19年3月期	2,749	△4,876	2,136	2,025

2. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日） 【参考】

（%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
中間期	26,500	4.4	900	26.7	900	24.5	550	2.3
通期	54,500	3.3	2,700	△21.5	2,600	△22.2	1,550	△25.1

	1株当たり 当期純利益	
	円	銭
中間期	13.07	
通期	36.85	

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 [新規社（社名） 除外社（社名）]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

〔注〕詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想につきましては、平成19年5月17日発表の数値を変更しておりません。
 なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な要因により記載の予想数値とは異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加とともに雇用情勢の改善にも広がりが見られ、景気は回復基調で推移いたしました。しかしながら、医療用医薬品におきましては医療費抑制策の継続基調は変わらず、またOTC医薬品も長期低迷から脱しきれず、ともに厳しい環境下で推移しております

このような情勢の中、医療用医薬品部門におきましては、最重点領域と位置付けております消化器器官用薬のH₂受容体拮抗剤「アシノン®カプセル 75・150」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®顆粒 15%・D錠 75」に営業力を一層注力し、市場拡大に努めてまいりました。なお米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「ビジクリア®錠」は、平成 19 年 4 月に製造販売承認を取得し、6 月に発売いたしました。

一方、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会が進展する中で、セルフプリベンション（予防）を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」につきましては、競合品が多数ある中、関節痛内服薬市場でトップブランドとしての地位を堅持すべくより一層の営業力を注力いたしました。

以上のような営業活動の結果、当四半期の売上高は 121 億 78 百万円（前年同期比 2.3%増）となりました。利益につきましては、営業利益 3 億 84 百万円（前年同期比 80.6%増）、経常利益 4 億 52 百万円（前年同期比 77.3%増）、四半期純利益 2 億 97 百万円（前年同期比 101.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況について

当四半期末の総資産は 579 億 65 百万円となり、前連結会計年度末対比 5 億 53 百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が 243 億 99 百万円で、前連結会計年度末対比 1 億 21 百万円の増加、固定資産が 335 億 65 百万円で、6 億 74 百万円の減少となっております。資産の部の増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が 12 億 9 百万円減少する一方、たな卸資産が 5 億 45 百万円増加いたしました。また、固定資産では、投資有価証券が売却等により 5 億 22 百万円減少いたしました。

当四半期末の負債合計は 285 億 34 百万円となり、前連結会計年度末対比 3 億 87 百万円の減少となりました。その増減の主なものは、長短借入金の減少 7 億 3 百万円、賞与引当金の減少 5 億 79 百万円、流動負債のその他の増加 10 億 56 百万円等であります。

当四半期末の純資産は 294 億 30 百万円となり、前連結会計年度末対比 1 億 66 百万円の減少となりました。これは、四半期純利益を 2 億 97 百万円計上したものの、前期の期末配当の実施 3 億 36 百万円、その他有価証券評価差額金の減少 42 百万円等により純資産が減少したことによるものであります。これらの結果、当四半期末の自己資本比率は前連結会計年度末対比 0.2%改善し、50.8%となりました。

②キャッシュ・フローについて

当四半期末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比 1 億 90 百万円増加し、22 億 15 億円となりました。これは、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローが各々、5 億 66 百万円、1 億 34 百万円のプラスであったものの、長期借入金の返済、配当金の支払い等により、財務活動によるキャッシュ・フローが 5 億 10 百万円のマイナスであったことによるものです。

当四半期における各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 5 億 66 百万円の資金の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益の計上 5 億 31 百万円、減価償却費の計上 5 億円、売上債権の減少額 11 億 94 百万円、たな卸資産の増加額 5 億 45 百万円、法人税等の支払額 10 億 12 百万円等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 1 億 34 百万円の資金の増加となりました。これは、投資有価証券の売却等による収入 4 億 86 百万円、有形固定資産の取得による支出 1 億 26 百万円、無形固定資産の取得による支出 2 億 20 百万円等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当四半期は 5 億 10 百万円の資金の減少となりました。これは、短期借入金の減少 1 億円、長期借入金の返済 6 億 3 百万円、配当金の支払 3 億 5 百万円、預り担保金の増加 5 億 82 百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く厳しい経営環境は今後も継続するものと考えられますが、このような中、当四半期の業績はほぼ当初の計画通りに推移しております。第 2 四半期以降もほぼ計画通りに推移するものと見込まれることから、平成 19 年 5 月 17 日発表の中間期及び通期の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準について年間予測税率を使用している他、影響額の僅少なものについて、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円，端数切捨表示)

期 別 科 目	前年同四半期末		当四半期末		(参考) 前期末	
	(平成19年3月期 第1四半期末)		(平成20年3月期 第1四半期末)		(平成19年3月期末)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	1,981		2,342		2,152	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	13,988		12,712		13,922	
3. た な 卸 資 産	4,170		5,372		4,827	
4. 繰 延 税 金 資 産	834		866		864	
5. そ の 他	2,332		3,151		2,560	
貸 倒 引 当 金	△ 46		△ 46		△ 47	
流 動 資 産 合 計	23,260	41.8	24,399	42.1	24,278	41.5
II 固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
建 物 及 び 構 築 物	4,732		6,424		6,503	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	925		3,274		3,331	
土 地	9,808		9,811		9,811	
建 設 仮 勘 定	2,109		0		12	
そ の 他	336		317		322	
有 形 固 定 資 産 合 計	17,914	32.2	19,828	34.2	19,981	34.1
2. 無 形 固 定 資 産	1,100	2.0	1,515	2.6	1,379	2.4
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券	7,333		6,924		7,447	
長 期 前 払 費 用	4,021		3,359		3,525	
繰 延 税 金 資 産	387		226		197	
そ の 他	1,725		1,807		1,793	
貸 倒 引 当 金	△ 116		△ 97		△ 83	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	13,351	24.0	12,222	21.1	12,879	22.0
固 定 資 産 合 計	32,365	58.2	33,565	57.9	34,240	58.5
資 産 合 計	55,626	100.0	57,965	100.0	58,519	100.0

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前年同四半期末 〔平成19年3月期〕 第1四半期末		当四半期末 〔平成20年3月期〕 第1四半期末		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)		%		%		%
I 流 動 負 債						
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	6,161		5,776		5,909	
2. 短 期 借 入 金	8,724		7,843		8,039	
3. 賞 与 引 当 金	368		360		939	
4. 返 品 調 整 引 当 金	217		197		216	
5. 売 上 割 戻 引 当 金	335		284		236	
6. そ の 他	3,449		4,630		3,574	
流 動 負 債 合 計	19,257	34.6	19,093	32.9	18,915	32.3
II 固 定 負 債						
1. 社 債	1,000		2,000		2,000	
2. 長 期 借 入 金	5,360		6,231		6,739	
3. 退 職 給 付 引 当 金	1,269		882		947	
4. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	195		208		201	
5. そ の 他	67		117		117	
固 定 負 債 合 計	7,893	14.2	9,440	16.3	10,005	17.1
負 債 合 計	27,150	48.8	28,534	49.2	28,921	49.4
(純 資 産 の 部)						
I 株 主 資 本						
1. 資 本 金	6,593	11.9	6,593	11.4	6,593	11.3
2. 資 本 剰 余 金	5,414	9.7	5,414	9.3	5,414	9.3
3. 利 益 剰 余 金	21,091	37.9	22,634	39.1	22,673	38.7
4. 自 己 株 式	△ 6,333	△ 11.4	△ 6,669	△ 11.5	△ 6,585	△ 11.3
株 主 資 本 合 計	26,766	48.1	27,972	48.3	28,096	48.0
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等						
1. そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,689	3.1	1,455	2.5	1,498	2.6
2. 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	19	0.0	2	0.0	2	0.0
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	1,709	3.1	1,458	2.5	1,500	2.6
純 資 産 合 計	28,475	51.2	29,430	50.8	29,597	50.6
負 債 及 び 純 資 産 合 計	55,626	100.0	57,965	100.0	58,519	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

科 目	期 別	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期		当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期		(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額
I 売 上 高		11,900	100.0	12,178	100.0	52,757
II 売 上 原 価		5,647	47.5	5,826	47.8	24,137
返品調整引当金戻入額		△6	△0.1	△18	△0.1	△8
売 上 総 利 益		6,259	52.6	6,369	52.3	28,627
III 販売費及び一般管理費		6,046	50.8	5,984	49.1	25,189
営 業 利 益		213	1.8	384	3.2	3,438
IV 営 業 外 収 益		103	0.8	153	1.2	212
1. 受取利息及び配当金		80		137		113
2. 為 替 差 益		14		-		46
3. そ の 他		8		15		52
V 営 業 外 費 用		61	0.5	85	0.7	308
1. 支 払 利 息		34		56		194
2. コミットメント契約費用		14		9		64
3. そ の 他		11		19		49
経 常 利 益		255	2.1	452	3.7	3,341
VI 特 別 利 益		20	0.2	85	0.7	359
1. 固定資産売却益		-		85		337
2. 貸倒引当金戻入額		20		-		21
VII 特 別 損 失		0	0.0	6	0.1	105
1. 固定資産除却損		0		2		105
2. 固定資産評価損		-		4		-
税金等調整前四半期(当期)純利益		274	2.3	531	4.3	3,595
法 人 税 等		127	1.1	233	1.9	1,527
四半期(当期)純利益		147	1.2	297	2.4	2,068

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)

(単位: 百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△ 6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
当四半期の変動額									
剰余金の配当			△ 339		△ 339				△ 339
四半期純利益			147		147				147
自己株式の取得				△ 168	△ 168				△ 168
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△ 536	19	△ 517	△ 517
当四半期の変動額合計	—	—	△ 192	△ 168	△ 360	△ 536	19	△ 517	△ 878
平成18年6月30日残高	6,593	5,414	21,091	△ 6,333	26,766	1,689	19	1,709	28,475

当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)

(単位: 百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,673	△ 6,585	28,096	1,498	2	1,500	29,597
当四半期の変動額									
剰余金の配当			△ 336		△ 336				△ 336
四半期純利益			297		297				297
自己株式の取得				△ 84	△ 84				△ 84
株主資本以外の項目の 当四半期の変動額(純額)						△ 42	—	△ 42	△ 42
当四半期の変動額合計	—	—	△ 39	△ 84	△ 123	△ 42	—	△ 42	△ 166
平成19年6月30日残高	6,593	5,414	22,634	△ 6,669	27,972	1,455	2	1,458	29,430

(参考) 前期 (平成19年3月期)

(単位: 百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成18年3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△ 6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 678		△ 678				△ 678
当期純利益			2,068		2,068				2,068
自己株式の取得				△ 420	△ 420				△ 420
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△ 728	2	△ 726	△ 726
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,390	△ 420	969	△ 728	2	△ 726	243
平成19年3月31日残高	6,593	5,414	22,673	△ 6,585	28,096	1,498	2	1,500	29,597

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前年同四半期	当四半期	(参考) 前期
	(平成19年3月期 第1四半期)	(平成20年3月期 第1四半期)	(平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	274	531	3,595
2. 減価償却費	361	500	1,609
3. 売上債権の減少額	1,242	1,194	1,324
4. たな卸資産の増加額	△ 348	△ 545	△ 1,006
5. 仕入債務の減少額	△ 328	△ 132	△ 580
6. その他	△ 156	△ 46	△ 1,596
小計	1,044	1,502	3,345
7. 法人税等の支払額	△ 286	△ 1,012	△ 519
8. その他	42	76	△ 76
営業活動によるキャッシュ・フロー	800	566	2,749
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△ 1,600	△ 126	△ 4,330
2. 無形固定資産の取得による支出	△ 36	△ 220	△ 380
3. 投資有価証券の取得による支出	△ 90	△ 0	△ 610
4. 投資有価証券の売却等による収入	—	486	428
5. その他	△ 1	△ 3	16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,729	134	△ 4,876
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純増減額(減少は△)	265	△ 100	△ 300
2. 預り担保金の純増額	—	582	298
3. 社債発行による収入	—	—	1,000
4. 長期借入れによる収入	1,300	—	4,210
5. 長期借入金の返済による支出	△ 321	△ 603	△ 1,973
6. 自己株式の取得による支出	△ 169	△ 84	△ 422
7. 配当金の支払額	△ 310	△ 305	△ 676
財務活動によるキャッシュ・フロー	763	△ 510	2,136
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△ 165	190	9
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,015	2,025	2,015
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,849	2,215	2,025

補足資料1

四半期連結事業部門別売上高

(単位：百万円, 端数切捨表示)

事業部門の名称		前年同四半期	当四半期	対前年同期比	(参考) 前期 (平成19年3月期)
		(平成19年3月期 第1四半期)	(平成20年3月期 第1四半期)		
医薬品事業	医療用医薬品部門	7,806	7,920	1.5%	34,406
	コンシューマーヘルスケア部門	4,056	4,222	4.1%	18,204
	小計	11,862	12,143	2.4%	52,610
その他の事業		38	35	△8.4%	146
合計		11,900	12,178	2.3%	52,757

補足資料2
新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成19年7月27日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
承認	ZL-101/ ニザチジン	自社	胃・十二指腸潰瘍 逆流性食道炎・胃炎	錠剤	導入 アシノン剤型追加
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵工業)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅡ	Z-338/ Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズⅢ (韓国)	Z-103/ ポラプレジンク	導出 (SK Chemical)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ Acotiamide	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅡb/Ⅱa (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル
フェーズⅠ準備中 (米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル